

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 広島県 】

1 実践テーマ	【 I 】			
2 実施対象者	三次市立作木中学校 3年生 （17名） 2年生 （ 7名） 1年生 （11名） 三次市立作木小学校 5年生 （ 3名） 特別支援学級 （ 2名） 6年生 （11名） 保護者等 （12名）			
3 展開の形式	（1）学校における活動 ① 教科名（ 保健体育科 ）			
4 目 標 （ねらい）	・文化としてのスポーツの意義を理解させるとともに、オリンピックやパラリンピック及び国際的なスポーツ大会が果たしている国際親善や世界平和に寄与する役割を理解させる。			
5 取組内容	事前指導 ◇保健体育科（体育理論） オリンピック・パラリンピックに関するパワーポイントを作成し、授業を展開する。 「オリンピック・パラリンピック クイズ」 ※クイズ形式にすることで、児童・生徒が学ぼうとする意欲を高める。そのクイズの中で、オリンピック・パラリンピックの意義や歴史について解説する。 パワーポイント資料 例 <table border="1"> <tr> <td> 問題 1 みんながよく目にするこのマークは、何をあらわしているのでしょうか。  </td> <td> 答え 五輪のマークの5つの輪は、ヨーロッパ、南北アメリカ、アフリカ、アジア、オセアニアの五大洲を表し、鎖状に重なり合うようにすることで大陸の相互の結合と連帯を表している  </td> <td> 問題 3 古代オリンピックで行われていた競技を次の中から、全て答えなさい。 ボクシング、レスリング、柔道、戦車競走、アーチェリー  </td> </tr> </table> ◇生徒会活動（保健委員会） 保健委員会の生徒が中心となり、校内掲示用オリンピック・パラリンピックの問題を作成した。 	問題 1 みんながよく目にするこのマークは、何をあらわしているのでしょうか。 	答え 五輪のマークの5つの輪は、ヨーロッパ、南北アメリカ、アフリカ、アジア、オセアニアの五大洲を表し、鎖状に重なり合うようにすることで大陸の相互の結合と連帯を表している 	問題 3 古代オリンピックで行われていた競技を次の中から、全て答えなさい。 ボクシング、レスリング、柔道、戦車競走、アーチェリー 
問題 1 みんながよく目にするこのマークは、何をあらわしているのでしょうか。 	答え 五輪のマークの5つの輪は、ヨーロッパ、南北アメリカ、アフリカ、アジア、オセアニアの五大洲を表し、鎖状に重なり合うようにすることで大陸の相互の結合と連帯を表している 	問題 3 古代オリンピックで行われていた競技を次の中から、全て答えなさい。 ボクシング、レスリング、柔道、戦車競走、アーチェリー 		

塚原 直貴選手の紹介（校内掲示）



当日

◇塚原選手による講演と実技指導

- ・講演の中でメダルを獲得した時の実際の映像を見せていただくことで、北京オリンピックを知らない小学生も、選手たちの成し遂げた偉業を理解することができていた。
- ・質問タイムを設定することで、児童生徒が塚原選手と直接会話する機会を得た。
- ・より速く走るために有効なトレーニング方法や走るときに意識すべきポイント等を教えていただいた。
- ・生徒が塚原選手と一緒に走る機会をもつことができた。

事後指導

◇保健体育科（体育理論）

- ・塚原選手が来校された後の体育理論の授業において、生徒自身が運動にどう携わっていくかを考える時間を設定した。



スポーツの価値

を考えてみよう

班で二つ意見を発表してみよう！



オリンピックを通して、
国や文化の違いをこえて
人々の相互理解を深める

平和の祭典



11月15日（木）
塚原 直貴 選手 来校

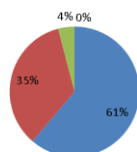


6 主な成果

- ・クイズや映像資料を用いた学習により、オリンピック・パラリンピックの理念や歴史について、より理解を深めることができた。

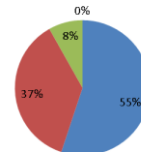
2020年オリンピック・パラリンピック競技大会に
対する理解・関心は高まりましたか。

■非常にそう思う ■ややそう思う ■あまりそう思わない ■全くそう思わない



オリンピック・パラリンピック並びにスポーツの意義や価値
等に対する理解・関心が高まりましたか。

■非常にそう思う ■ややそう思う ■あまりそう思わない ■全くそう思わない



- ・塚原選手による講演において、各選手がオリンピック出場のため、また、400mリレーでのメダル獲得という高い目標実現のため、どのように努力されてきたのか、メダルを獲得した時、日本国内がどれくらい盛り上がったか等を知ることができ、夢の実現に向け、自

	分を信じあきらめず努力することの大切さ、オリンピック・パラリンピックが見る人に与える影響等を学ぶことができた。 - メダリストのお話を直接聞いたり、実際のメダルを全員が触ったりしたことで、オリンピック・パラリンピックをより身近に感じることができた。 - 塚原選手からの実技指導により、より速く走るための基本的なトレーニングの仕方や走るときのポイントを学び、生徒全員がそのコツの効果を体感することができた。 - 塚原選手と一緒に全力で走る機会を得たことで、オリンピック選手の走るスピードを実感することができた。 - 生徒会の保健委員会が中心となり、オリンピック・パラリンピックに関する掲示物等を作成することで、生徒の主体的な学習を促すことができた。
7実践において工夫した点 (事業の特色)	- 新体力テストにおける課題(走力・持久力)を小・中学校で共有し、発達の段階を踏まえ、系統的に運動能力の向上(特に走力アップ)が図れるよう、保健体育科の単元の中に本事業を組み込んだ。 - 学校から自宅までの距離が長い児童・生徒が多いため、冬期には、多くの児童・生徒がバス通学となる。通学に係る運動量が減少する中で、より多くの児童・生徒が運動に親しむことができるよう、小学生の5、6年生を本校に招いて、事業を実施した。 - 小規模校であることから、児童生徒一人ひとりが塚原選手と直接接する時間を確保するため、質問タイムを設けたり、一緒に走ったりする場面を設定した。
8主な課題等	今年度は保健体育科だけの事業展開となってしまった。総合的な学習の時間や道徳科、その他の教科と関連付けることで、オリンピック・パラリンピックへの興味・関心を高め、その意義等への理解が深まると考える。そのためにも、全職員がオリンピック・パラリンピックムーブメントについての研修を行い、協力体制を整え、組織的に取り組む必要がある。
9来年度以降 の実施予定	東京オリンピック・パラリンピックにどう関わっていくのか(見る、する、支える等)を具体的に考えさせるとともに、保健体育科だけでなく、他教科等との関連を図りながら、教科横断的な学習を展開していく。